



◀もみじがさ(きく科)

葉は5～7裂し互生，もみじの葉に似る。花茎の先の方に数個の花がつき，花は五弁で白色。シドキといい山菜として若芽を食べる。

花期 8～10月

草たけ 30～80cm

生育地 湿気のある林の中

▼やまとりかぶと(キンポウゲ科)

花の咲く頃茎は斜上する。葉は3～5に深裂する。地下に太い根があり，これに猛毒がある。新しい根を附子(フシ)という。葉にも毒性があるとされるので注意が必要である。

花期 8～10月

草たけ 100～200cm

生育地 林の中，林のへり

○とりかぶとには全草に毒がある。根の毒性は強い。

とりかぶとの
ふし(附子) ▼



芽生え



◀やはずそう(まめ科)

茎はよく枝わかれし，葉は3小葉からなる。小葉を手でひっぱると矢羽根の形に切れる。葉腋に淡紫色の蝶形花をつける。

花期 8～10月

草たけ 10～30cm

生育地 野原や道ばた